

「原子分解能分析電子顕微鏡 JEM-ARM200F」の設置説明会への参加

参加者：津志田雅之^{A)}、佐藤徹哉^{A)}
所 属：^{A)} 機器分析 WG
期 間：2014 年 10 月 30
主 催：長崎大学 産学官連携戦略本部
共 催：大学連携研究設備ネットワーク
場 所：長崎大学 産学官連携戦略本部

研修内容

1. 電子顕微鏡のしくみと JEM-ARM200F の特徴および分析事例紹介
 - ・原子レベル分解能での分析例
 - ・生体試料への応用例
 - ・周辺オプションと将来の拡張性
 - ・EDS、EELS、イオンスライサーなどの周辺機器の機能
2. JEM-ARM200F におけるデモ

まとめ

長崎大学が所有する日本電子社製 JEM-ARM200F が、大学連携研究設備ネットワークの登録機器として利用可能になった。それに伴い、JEM-ARM200F の設置説明会が長崎大学において開催された。

日本電子社製 JEM-ARM200F は、商用で世界最高の走査透過像の分解能(0.08nm)を有する原子分解能分析電子顕微鏡である。本講習会では、前半に透過型電子顕微鏡の原理と JEM-ARM200F を用いた観察例および分析例の紹介があり、後半で実機におけるデモンストレーションがあった。

本講習会を受講し、原子分解能分析電子顕微鏡の知識が得られ、また九州地区の透過電子顕微鏡に関わる職員との交流を深めることができ、大変有意義な研修となった。